

フライング金具

SR-FB3

ラインアレイスピーカー SR-H2L、SR-H2S、SR-H3L、および SR-H3S を吊り下げるための専用金具です。
本機で吊り下げることのできるスピーカーは、1 台のみです。

■ 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

フライング工事は専門業者に依頼する

フライングの工事には、技術と経験が必要です。
技術や経験のない業者が工事を行うと、落下して、けがの原因となります。

フライング工事をするときの注意

- 次のことを必ずお守りください。
- 守らないと、吊り下げワイヤーやベルトが外れたり、切れたりして、スピーカーが落下し、けがの原因となります。
 - 吊り下げワイヤー、ベルトなどが重量物に対して十分な強度があること。
 - 吊り下げワイヤー、ベルト側の金具がスピーカー側の金具に確実に固定されていること。
 - すべてのパーツ（エンクロージャ、金具、ねじ類など）に変形、亀裂、腐食などが発生していないこと。
 - 取り付けのためのねじ類は、必ずフライング金具に付属のものを使用すること。

設置場所の強度を確認する

スピーカーを含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。

十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。

屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。

指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。

各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。

指定のスピーカーのみに使用する

守らないと、落下して、けがの原因となります。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

ワイヤーやスピーカーに無理な力がかかり、落ちて、けがの原因となることがあります。

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。

スピーカーまたは取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。

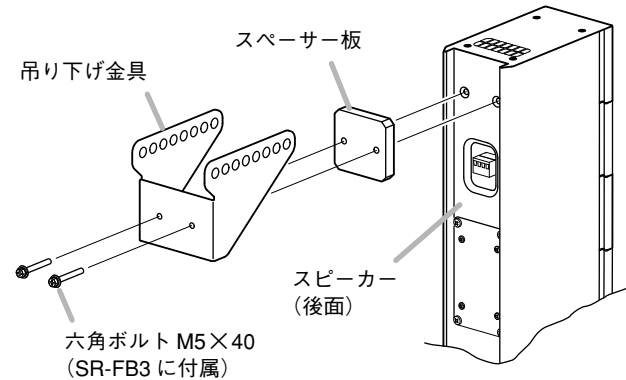
■ 取り付けかた

1 吊り下げ金具をスピーカー後面の上部に取り付ける。

スピーカー後面の所定のねじを外し、そのねじ穴を使って取り付けます。

このとき、スペーサー板をスピーカーと吊り下げ金具の間に、はさみ込みます。

※ 金具の取り付け位置は、「吊り下げ金具と振れ止め金具の取付位置」(右図)を参照してください。



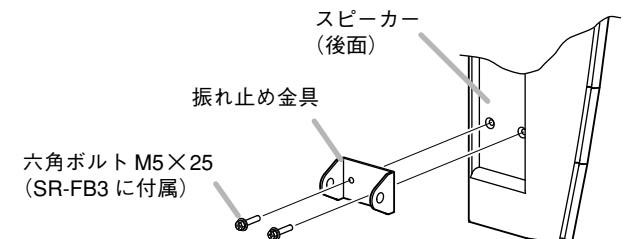
2 振れ止め金具をスピーカー本体の後面に取り付ける。

振れ止め金具は、以下の場合に取り付けてワイヤー掛けを行ってください。

- スピーカーの吊り下げ状態を固定したいとき
- 吊り下げたときの下振り角度が足りないとき

スピーカー後面の所定のねじを外し、そのねじ穴を使って取り付けます。

※ 金具の取り付け位置は、「吊り下げ金具と振れ止め金具の取付位置」(右図)を参照してください。



3 吊り下げワイヤーを金具に掛ける。

吊り下げ金具と振れ止め金具に設けている吊り穴に、ワイヤーを掛けます。

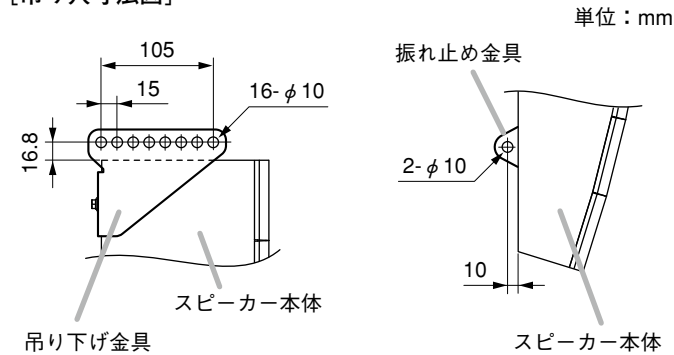
メ モ

吊り下げ金具に設けている穴を選択することで、スピーカーの下振り角度を調節することができます。

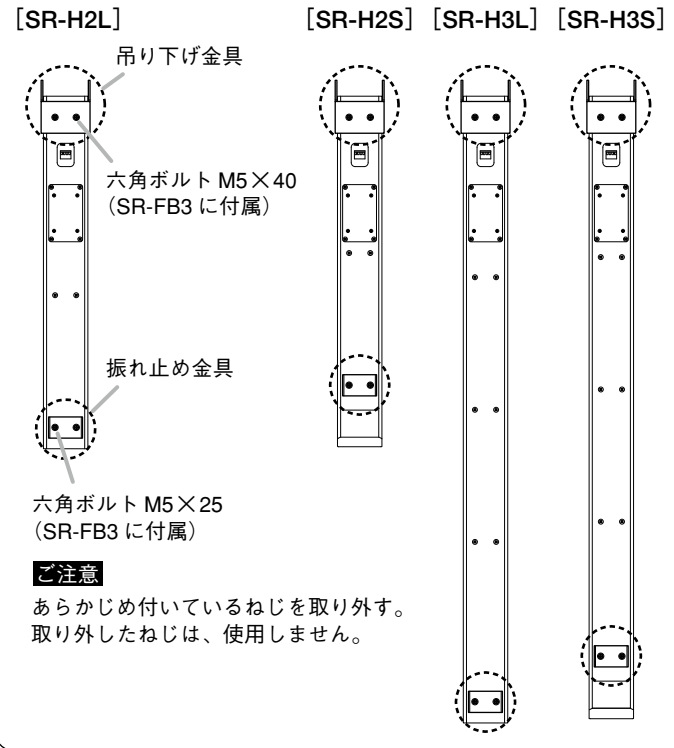
下振り角度が足りない場合は、振れ止め金具にワイヤーを掛けて後方に引き上げてください。

※ 「スピーカーの吊り下げかた」をお読みください。

[吊り穴寸法図]



吊り下げ金具と振れ止め金具の取付位置



■ 仕 様

適合スピーカー	SR-H2L、SR-H2S、SR-H3L、SR-H3S
仕 上 げ	圧延鋼板、ホワイト（マンセル N9.5 近似色）、塗装
質 量	630 g
構 成 品	吊り下げ金具 …… 1、振れ止め金具 …… 1、 スペーサー板 …… 1
付 属 品	六角ボルト M5 × 25（座金付き） …… 2 六角ボルト M5 × 40（座金付き） …… 2

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

4 スピーカー線を着脱式入力コネクタに接続する。

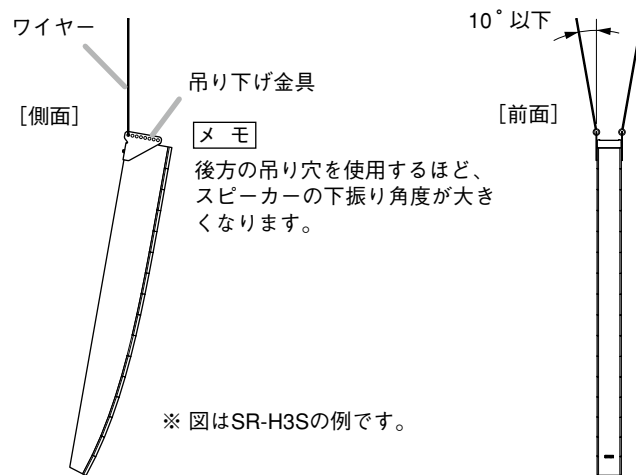
※ 接続のしかたは、適合スピーカーに付属の取扱説明書をお読みください。

■ スピーカーの吊り下げかた

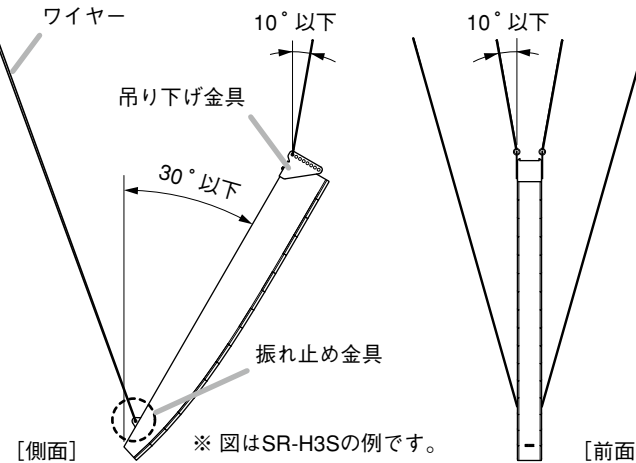
ご注意

- 本機で吊り下げることのできるスピーカーは、1 台のみです。（連結したスピーカーを吊り下げないでください。）
- それぞれのワイヤーに均等に荷重がかかるようにワイヤーの長さを調節してください。
- 吊り下げ金具に取り付けるワイヤーは、鉛直から 10° 以内の角度になるように吊り下げてください。
- 下振り角度調節などで、スピーカーを後方に引き上げる場合は、スピーカー後面の傾き角度が 30° 以内になるように吊り下げてください。

● 2 本のワイヤーで吊り下げる場合



● 4 本のワイヤーで吊り下げる場合



TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	
商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。 最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。	

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>